

増田裕一 副委員長

時間もございませんので、端的に2点ほどお伺いしたいと思います。

区立幼稚園の改革方針（案）の策定について。

私も、区立幼稚園を子供園化する、幼保一元化するといったときに、1つ問題になることがあるというふうに思っておりますのは、こちらのほうにもちらっと触れておりますが、高円寺北幼稚園と杉並第四小学校との併設施設であると。これはたしか幼小連携の取り組みをやっていたかと思うんですけども、教育委員会として、幼小連携について成果なり何なりどのように総括をして、そしてこの幼小連携について今後どのような取り組みを行っていくのか、今後についてお伺いしたいと思います。

学務課長 今委員ご指摘のとおり、杉四小学校と高円寺北幼稚園につきましては幼小連携を行っておりまして、特にこの幼稚園につきましては、小学校の中に併設をしているという関係がありますので、そこのお子さんにつきましては、小学校に上がるに当たっても、十分に小学校という環境を理解した上で進学できているというふうに思っております。また、お子さんだけではなく、教員のそれぞれの話し合いなども定期的に行われておりますし、また、地域の方々とのかかわりなども盛んに行われているということで成果を上げていると思います。

ただ、今回の子供園化というようなことで、環境が違いますので、今後、事業内容について検討をしてみたいと思いますが、引き続き、残った子供園につきましても、幼小連携の成果というものをやっていきたいというふうに思っております。

幼小連携につきましては、今までも、幼稚園だけではなく保育園でも行われているということもございますので、そういった成果も今後の子供園に生かしていきたいというふうに考えております。

今井讓 委員長

12時を回ろうとしておりますが、この際委員会を続行いたします。

増田裕一 副委員長

もう1つなんですけれども、いろいろ議論された上での最終的な結論ということだと思っておりますので、1つ、今まで就学前教育ということで、区立幼稚園6園、直轄で教育委員会が就学前教育にタッチできる非常に貴重な場だというふうに思っておったんですけども、これが今回区長部局保健福祉部のほうに一元化されてしまうということで、今後、就学前教育に関して、教育委員会と区長部局との何か一体的と申しましょうか、連携的なそういったものについては考えていらっしゃるのでしょうか。

教育委員会事務局次長

就学前教育の重要性については、教育基本法の改正の中でも大きくうたわれたところであるというふうに思っています。それは何も幼稚園だけが担っていることではなくて、保育園も非常に大事な場である、家庭もまたしかりであるというふうに思っています。そうした意味で、幼児教育全体として、就学前教育を全体として進めていくには、今回、子ども施策の中心になっている区長部局の子ども家庭担当部に置くこと、位置づけることが、全体として推進していく上で有効であろうという判断に至ったわけですが、しかし、それを本当にいいものにしていく上では、教育委員会がきちんと関与していかなければいけないということもまた同時に思っています。

区には教育立区推進本部というのがありまして、これは副区長がトップで、教育長がサブというような位置づけですけども、こういう中で就学前教育の推進のための議論もこれまでも行われてきましたし、今後も必要に応じてきちんとした部会組織等を設けてやっていきたいと思っております。